

大阪工業大学工学部土木工学科 学生員 ○安井 友紀
 大阪工業大学工学部土木工学科 学生員 小澤 尚志
 大阪工業大学工学部土木工学科 学生員 葉山 学
 大阪工業大学工学部土木工学科 正会員 岩崎 義一

1. 研究目的と方法

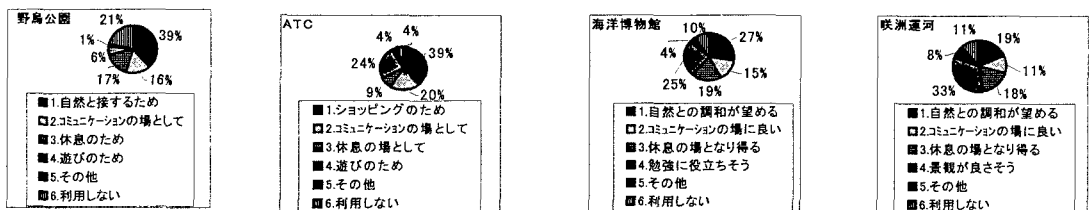
テクノポート大阪は大阪の臨海部に都市機能を集積させる計画であり、南港北地区（コスモスクエア地区）は大阪都市圏の発展をリードしていく拠点としての「まちづくり」を行い、副都心として開花するため様々な開発を遂げてきたテクノポート大阪の集客・業務を担う地区である。当該地区は広域的な拠点となる施設がほとんどであるが隣接の居住ゾーン（ポータウン）の存在を考え合わせると、住民の立場に沿った開発・整備の視点も重要であり、こうした広域と地区との両方の視点で開発整備していく事は、テクノポート開発の一層の増進につながるものと期待される。また、南港地区の開発を増進させる方法として、とくにやすらぎやゆとりを感じ魅力的な空間にするための整備が重要に思われ、さらに地区の貴重な資源である水際の開発を促進させる方法にも地区住民の意見を取り入れた地区計画が望まれる。よって本研究では大阪湾の咲洲北部に位置するコスモスクエア地区を対象地区として、隣接する居住地区（ポータウン）内生活者が求める開発整備の必要条件を実態調査を通して明らかにする。尚、本調査は下記のような要領でポータウン内住民にアンケート調査を実施した。

表－1 アンケート調査概要 (ATC…アジア太平洋トレードセンター)

調査方法	アンケート調査書を配布・回収	調査対象	南港ポータウン内居住者 191 世帯無作為抽出
調査期間	1999 年 12 月 5 日～1999 年 12 月 12 日	回収率	64%
質問内容	質問 1. 野鳥公園、ATC、大阪海洋博物館、咲洲運河についての施設利用目的 質問 2. 野鳥公園、ATC、大阪海洋博物館、咲洲運河、コスモスクエア全地区における改善点 質問 3. 咲洲コスモスクエアにおける開発の満足度及び、不満の理由 質問 4. 水際の望まれる利用タイプ及び、利用形態		

2. 実態調査にみる特性

(1) 各施設利用の目的：図－1 より野鳥公園、海洋博物館、咲洲運河を通して自然や景観を重視して訪れている人が多く、ATC については買い物目的で訪れる人が多い。また、海洋博物館については子供のいる家庭が多いためか、勉強に役立たせるために施設の利用を望む人が多かった。野鳥公園について施設利用をする反面、利用しない人も 2 割と多い結果となった。



図－1 各施設の利用目的

(2) 各施設及び地区における改善点：図－2 より殆どにおいて暴走族問題が一番高い事が特筆される。次いで違法駐車問題も高い。施設個別にみると野鳥公園については外灯の少なさが指摘され、外灯を増やしてほしいという意見が多かった。ATC では高齢者や身体障害者に配慮した設備設置の要望が高く、今後オープンを待っている海洋博物館についても同じ指摘の割合が多い。

(3) 開発における満足度と不満の理由：図－3 より「大変満足」している人が皆無であるのに対し、「少し不満」を持っている人々が 40%と最も多い結果となった。開発に「満足している」とはっきり答えられている人だけでみると 2 割であり、開発に対する不満の度合いが濃く出ている結果となった。また、図－4 では各施設における改善点が暴走族問題を受けてか治安・防犯対策に不満を持っている人が最も多い。また、ニュー tram などの公共交通、道路交通などの交通対策にも不満が多い。

(4) 水際線開発：水際線開発に対する利用とその形態を聞いてみると表－2 より小川のせせらぎや自然の池、

Yuki YASUI, Takashi KOZAWA, Gaku HAYAMA, Yoshikazu IWASAKI

各施設における改善点

1 施設の利用用途を拡大する
2 施設1単位を2単位とする
3 3施設を1単位とする
4 最も効果的な利用施設とする
5 2つの利用用途に2施設を1単位とする
6 施設の運営に2施設を1単位とする
7 8施設1利用用途に2施設を1単位とする
8 施設1利用用途に2施設を1単位とする
9 シェアを2単位とする
10 施設1利用用途に2施設を1単位とする
11 2つの利用用途に2施設を1単位とする
12 施設1利用用途に2施設を1単位とする
13 施設1利用用途に2施設を1単位とする
14 施設1利用用途に2施設を1単位とする
15 その他

32区27全地区
D.東海運河
O.東海運河
B.ATC
A.野島公園

コスモクラの開発の満足度

満足度	割合
1.十分満足	0%
2.満足している	21%
3.少々不満がある	40%
4.かなり不満がある	12%
5.どちらとも言えない	27%

□ 1.十分満足
■ 2.満足している
▨ 3.少々不満がある
▩ 4.かなり不満がある
▤ 5.どちらとも言えない

開発に対する不満点

不満点	割合
1. 1. にぎやかになりすぎてうるさい	31%
2. 2. 閑散としている	19%
3. 3. 道路交通網の不整備	10%
4. 4. 公共交通機関の利用が不便	7%
5. 5. 事業全体の進行情形が悪い	7%
6. 6. 地味増築の効果に疑問	4%
7. 7. 自然保護への問題	4%
8. 8. 開発完了後の維持管理	2%
9. 9. 治安、防犯対策に問題がある	2%
10. 10. その他	2%

- 1. にぎやかになりすぎてうるさい
- 2. 閑散としている
- 3. 道路交通網の不整備
- 4. 公共交通機関の利用が不便
- 5. 事業全体の進行情形が悪い
- 6. 地味増築の効果に疑問
- 7. 自然保護への問題
- 8. 開発完了後の維持管理
- 9. 治安、防犯対策に問題がある
- 10. その他

表-2

	1位	2位	3位
水面のタイプ	・小川のせせらぎ	・自然が充実した池 ・波が打ちよせる海浜	・近くに遊び場のある海浜
水面の利用形態	・家族連れで活用する ・日常散策で使用する	・家族連れで活用する ・日常散策で使用する	・家族連れで活用する ・日常散策で使用する

IV - 47 - 2